

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和8年5月14日
事業者名:	りゅうでん株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	本社建屋の建設に当たって環境面での貢献を目指している ・紙ごみの削減を目指して回収・再利用システムの構築 ・ペットボトルやプラごみの廃棄を減らす		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに, ⑬気 候変動に具体的な対策を , ⑮森の豊かさを守ろう	・本社施設に70kW規模の太陽光発電パネルを設置 ・地中熱利用の空調設備を備え、冷暖房のための電力量を削減 ・本社建物を建設する上で、木材を多用してコンクリートなどのCO2排出量の多い資材利用を削減（岐阜県産材を活用した建物として県から補助金） これらにより、省エネ基準が『ZEB』ランク認証（岐阜県内で3例目）を受けた ・紙ごみの削減を目指して印刷用紙などの回収・再利用システムを構築している	指標	本社の使用電力量の削減 印刷用紙の使用量の削減
					目標	電力：2030年度までに75%以上の削減（『ZEB』認証の基準では100%） 紙：2028年度までに30%以上の削減
社会	本社施設内にこども食堂を開設した 自然災害地や福祉施設などに対して金銭的な支援を行っている 高校生のインターンシップの受け入れ 社員の健康維持のための支援		②飢餓をゼロに, ①貧困 をなくそう, ③すべての 人に健康と福祉を	こども食堂を月に1度以上開催している 社員の健康維持に毎年、健康診断と人間ドック（40歳以上）を会社負担で実施している	指標	こども食堂開催頻度 インターンシップ受け入れ回数
					目標	こども食堂を月に1度以上継続的に開催する インターンシップは毎年3人以上を複数校で受け入れる 義援金などを累計7000万円を目指す（現在6900万円）
経済	通信・ネット・パソコン利用環境を整備して、効率的な業務運営ができるようにしている 社員への報酬を業界の標準以上に設定している 執務環境の向上を目指している		①貧困をなくそう, ③すべての人に健康と福祉を , ⑧働きがいも経済成長も	社内通信環境を更新して情報伝達などがスムーズに行えるように整備した 協力会社への業務の発注形式を紙ベースから電子契約に変更した 個人ごとの机・椅子・棚などの家具をオーダーメイド製作し、すべて一新して効率的に業務が遂行できるようにした一全員の椅子には電動のマッサージ機能も持たせている 2025年冬季の賞与を、一般社員平均で95万円とするなど社員の生活向上に寄与している	指標	印刷する紙の使用量
					目標	2030年までに紙の使用量を半減する（一人当たりA4換算で6000枚から）
ガバナンス	チェック					
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 全員が見られる社内掲示板（電子化されている）に活動項目や目標を随時掲載している。 社内幹部会議の議事や協議事項なども上記の掲示板で全員に通知している。 社員全員に対するメンタルヘルス、執務環境、担当業務への考えなどを把握するための個人面談を実施した。 顧客に対する請負工事アンケートを行い、顧客満足度を返答してもらって点数化して改善につなげている。				
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 会社を運営していく上での経営理念を明らかにしており、その中でESG分類による活動をSDGsと関連付けた経営理念の一環として、ホームページに記載し、具体的に実行している活動内容を公表している。 ・経営理念の開示情報ページ https://www.ryuden.co.jp/info/management.html ・ESG→SDGs関連情報ページ https://notepm.jp/sharing/b5a7f2c9-3ac7-4435-aa1d-4a8c65e0c8de				